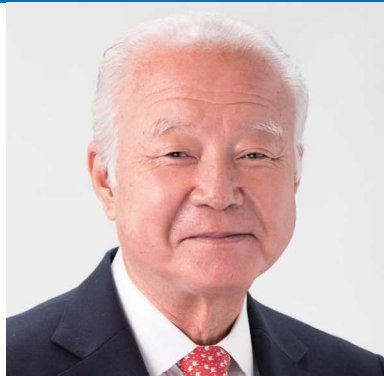


平成28年度から5回シリーズで開催しています。 今年のテーマは“自然共生社会の実現に向けて” これからの人と自然のつながりを考えます。

基調講演



公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)

理事長 武内 和彦氏

東京大学未来ビジョン研究センター特任教授。中央環境審議会会長代理、自然環境部会長、国連大学サステナビリティ高等研究所客員教授などを兼務。市村地球環境学術貢献賞、みどりの学術賞などを受賞。

著書に、『世界農業遺産—注目される日本の里地里山』(祥伝社新書)、『地球持続学のすすめ』(岩波ジュニア新書)、『日本の自然環境政策—自然共生社会をつくる』(東大出版会、共編著)などがある。

取組紹介



自然回復を試みる会 ビオトープ孟子 理事 有本 智氏

自然回復を試みる会ビオトープ孟子理事、海南市わんぱく公園長、日本野鳥の会和歌山県支部幹事、和歌山県環境学習アドバイザー、1998年より地元有志と共に海南市孟子不動谷の動植物調査及び自然保護活動を開始。子どもたちの環境学習、自然観察活動の講師を務めるかたわら、和歌山県北部を中心に数か所の調査地点を設定し、鳥類を中心とした調査活動を行っている。2009年、自然回復を試みる会ビオトープ孟子が公益社団法人日本ユネスコ協会連盟主催の第1回プロジェクト未来遺産に登録されている。



天神崎の自然を大切にする会 理事 玉井 済夫氏

天神崎の自然を大切にする会理事。田辺市文化財審議会委員。県文化功労章、田辺市文化賞などを受賞。

専門は爬虫類・両生類で紀伊半島に生息するサンショウウオの実態を解明するなど、当該分野の研究における県内第一人者。天神崎の自然保護活動にも尽力し、74年の「天神崎の自然を大切にする会」設立当初から参加し、日本の「ナショナル・トラスト運動」の先駆けをつくった。



和歌山県PRキャラクター
「きいちゃん」

『シンポジウム』申込フォーム・メールおよびFAX申込書

※記載いただいた情報は、和歌山県の人と自然をつなぐシンポジウムのご案内以外の目的には使用しません。※定員になり次第、受付を終了します。

■会場参加申込フォーム <https://sizen.wbs.co.jp>

こちらの二次元コードをスキャンしてください▶



■メール wasizen@wbs.co.jp

■FAX申込ダイヤル 073-428-0960

【申込期限】
3月10日(木)まで

氏名	住所	電話番号
1		
2		
3		

※新型コロナウイルス感染症対策として、各種予防対策を講じ、安全面を考慮しながら開催をいたしますが、ご来場の皆様には、次の点にご留意願います。

●当日、発熱がある方、体調不良の方は来場をご遠慮ください。 ●マスクの着用、入場前の手指消毒、咳エチケット等の感染予防策にご協力願います。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、本大会を中止する場合があります。その場合、ご出席の連絡をいただいた方に御連絡させていただきますので、必ず電話番号を御記入ください。

お問い合わせ▶和歌山県自然環境室 TEL.073-441-2779